



中山中学校便り



令和7年11月28日(金) No.7 文責：校長

自分を見つめる 11月 ～いのち・生き方を考える～

活動的に行事に取り組み、一人一人の力と集団の力を伸ばした10月が終わり、11月は、さまざまな立場の方から、生き方や幅広い考え方を学ぶ機会が多くありました。講話をお聞きする生徒の皆さんの表情やまなざしはとて真剣で、感想や振り返りからも自分を見つめ直し、自己肯定感を持つことの大切さ、夢を語ることの大切さ、あきらめないで挑戦することで拓ける未来、つかう言葉を選ぶことで人との関わりも温かくなること、…他にも「自分も他の人も大切にすること」や「前向きに生きるヒント」などたくさんの宝物をいただきました。

ぜひ、生徒のみなさんの心に残った言葉や思いを、ご家庭でも共有していただければと思います。また、感想などが学年廊下に掲示してありますので、ご来校の際にご覧ください。

「思うは招く」～創立60周年記念講演～ 講師：植松 努さん

前日は沖縄、翌日は埼玉という超多忙の合間に実現した株式会社植松電機 代表取締役の植松努さんの講話をお聞きする貴重な機会でした。「どうせ無理」と簡単に夢や目標をあきらめるのではなく、たくさん人に伝えたり、どんなことならできるだろう？だったらこうしてみれば？と考えたりすることで、夢や目標を近づけることができるという力強いお話をはじめ、「何回失敗してもいい」「違うはすてき」「話し合いは勝ち負けではない」…他にもたくさんのキーワードを投げかけてくださいました。

心に響いた言葉はそれぞれだと思いますが、間違いなくこれからの人生に勇気をいただけるお話でした。迷ったとき、苦しいと思ったとき、自分のことを否定したくなった時、思い出して前に進んでいきたいですね。



やまがた Life ポジティブキャラバン 講師：村山 雄輔さん

「やまがた Life ポジティブキャラバン」は、県内の多様な業界で活躍する講師から若い世代が生き方を学び、山形ならではの地域資源や暮らし方などの価値を見つめ直すきっかけづくりの取り組みとして県が実施しているものです。11月20日、2年生が、フレンチレストランオーナーシェフの村山雄輔さんの講話をお聞きしました。地元の素材を活かした料理を提供し、地元食材の普及に努めている村山さんからは「足元にある歴史や文化の価値に気付くことのできる視野の広さを持つこと」「失敗してからも自分の信念をもって立ち上がって進むこと」というメッセージをいただきました。



※12月の予定につきましては、メール（ポータルサイト）でお送りしている「月歴」をご覧ください。

「コミュニケーションがまあるくなる言葉♪まる語♪」

～1年生親子行事～ 講師:菊地 喜美子さん

11月21日、1年生の親子行事として、フリーアナウンサー菊地喜美子さんをお迎えし、発声の基本、好きな言葉＝まる語「言われて嬉しい言葉」「使って心がまあるくなる言葉」、簡単に気持ちを言葉にする方法などについてお話していただきました。生徒からは、「口を大きく開けて発声することでその場の雰囲気が変わると感じたのでやってみたい。」「自分が言われていやな言葉など、自分の気持ちをより深く知ることができた。」などの感想がありました。保護者の方からは、「言葉の使い方は家庭、友達同士の影響が大きくあるのだと実感しました。家庭での言葉遣いを考えたいです。」などの感想をいただきました。

この学びを日常生活に活かし、家族、友達、先生方とよりよいコミュニケーションを築くことができたらいいですね。



「いのちの講話」 3年生「今を未来につなぐ」

1年生「生命の誕生」 講師:後藤 敬子さん

11月25日、酒田市のごっと助産院の院長、後藤敬子さんによる「いのちの学習」が行われました。後藤さんには10年以上にわたり、毎年1年生と3年生に講話をいただいています。

今年も1年生には生命誕生の神秘と、授かった命をどれだけたくさんの方が大切に守ってきたのか、だからこそ誰かのために何かができる自分になること、そしてそんな自分を好きになってほしいと、自己の存在を大事にすることを教えていただきました。3年生には、自分を大切にする、相手も大切にするからこそ断る勇気も必要だということ、青年期の自立について、将来を展望して身に付けたい大切なことについてもお話をしていただきました。



中山中学校は創立60周年を迎えました

昭和40年に、長崎中学校と豊田中学校が統合し、中山町立中山中学校が創立して今年で60周年を迎えました。11月7日、佐藤町長様をはじめご来賓の方々の参列のもと、創立記念式典を行いました。以前は毎年行っていた創立記念式も、今ではほとんどの学校が式典は周年記念で行い、その他の年は集会で歴史や思いを振り返ることが多くなっています。今回は、前述の植松努さんの講演を控え、短時間での式典となりましたが、町長様の祝辞や講演前の実行委員長村山PTA会長さんのご挨拶などから、中山中学校の歴史や、それらに関わる多くの方々の思いを改めて知ることができました。

60周年は、還暦の年でもあります。「還暦」とは12支と10干が60年で一巡し、生まれた年の干支に戻り、生まれ変わって新しい出発を踏み出すという意味があるといわれています。これまで多くの先輩が築き上げた歴史に、みなさんが新しい風を吹き込み、新中山中の歩みがスタートすることを期待します。

